

第9期(令和元年度～2年度)

鹿角市行政評価市民会議

意見集

令和3年3月

◆第6次総合計画後期基本計画

プロジェクト名		令和元年度				令和2年度				継続検討課題
		R1 委員の意見	既に取り組中であったもの	R2 実施計画に反映したもの	反映が困難なもの	R2 委員の意見	既に取り組中であったもの	R3 実施計画に反映したもの	反映が困難なもの	
1	産業強化プロジェクト	人口減少に関して、若者が進学や就職で一度市外に出ることをマイナースととらず、市外で経験を積みスキルアップして地元に戻りたいと思えるようなまちづくりが必要ではないか。(R1第1回)	・地元に戻る環境の整備として、産業力強化による雇用創出を図っている。 ・ふるさと・キャリア教育推進事業で、キャリアアップ講座等の実施により、勤労観や職業観を育むとともに、地域の社会・経済の仕組みについての理解促進と地元産業の良さの発見につながっている。	新たにSNSを活用した市内企業の求人情報の発信や、就職希望者からの照会対応などが実施できるシステムを構築して人材確保対策に取り組み、Uターンを含む就職を促進することとした。(→実施計画P29「就職支援事業」)						
3	みらい輝く人づくりプロジェクト									
3	みらい輝く人づくりプロジェクト									
4	子どもの笑顔きらめきプロジェクト					出産だけではなく、未婚率上昇への対策も合わせて取り組む必要がある。(R2第1回)	・基礎学力の習得については、全国標準学力検査とQ-U検査を実施し、授業改善と個別支援に生かしている。 ・ふるさと・キャリア教育の推進により、児童生徒の社会的・職業的な自立を促す機会を充実させ、夢や目標をもった人材育成を図っている。			
6	まちなか賑わい創出プロジェクト					商店街の環境は整っているが、買い物の場所として魅力が感じられない。コモッセは多くの人に利用されているので、そのような目的の場所が商店街にあっても良いのではないか。(R2第1回)	・秋田県よろず支援拠点が実施している無料の店舗レイアウト改善事業の活用を促進し、個々の店舗の魅力向上及び店主の意識改革に取り組んでいる。 ・まちなかオフィスのインキュベーションフロアを開放しているが、近接するコモッセから商店街への回遊性向上につながる仕掛けが必要である。			

施策名	担当課	事業又は項目名	令和元年度				令和2年度				継続検討課題
			R1 委員の意見	既に取り組中であったもの	R2 実施計画に反映したもの	反映が困難なもの	R2 委員の意見	既に取り組中であったもの	R3 実施計画に反映したもの	反映が困難なもの	
1-1-1	農業経営体の育成強化	農林課	農業経営改善支援事業	農業法人の構成員の若返りが進まないのが課題である。(R1第2回)	法人等が実施する、50歳未満の新規雇用者の実践研修支援を行っている。						
1-1-2	農業生産の振興	農林課	新規ブランド産品育成支援事業	農業者の高齢化が進み、新規ブランドなどの新たな作物生産に消極的な傾向が見られる。(R1第2回)	・初期設備投資支援や技術普及費などの各支援により、新規ブランド産品育成者への支援をしている。 ・農業者の高齢化はあるものの、経営サポートセンターにおける相談件数は増加しており、意欲ある新規就農者の確保を図っている。 ・市広報や「恋する鹿角新聞」をはじめとする紙媒体のほか、市ホームページ等を活用し、新規ブランド産品の情報について周知拡大を図っている。			かつの牛の市内スーパーや飲食店での取り扱いなど、市民に対する宣伝が必要ではないか。(R2第1回)	かつの牛の地域内消費拡大のため、市内飲食店5店舗でかつの牛のオリジナルメニューを特別価格で提供する「かつの牛メニューフェア」(9/18～10/2)を実施している。		
1-3-1	観光の振興	産業活力課	観光宣伝推進事業					コロナ禍のため、海外からの誘客が見込めず厳しい状況が予想されるが、北東北などの国内観光客の獲得に力を入れて取り組んで欲しい。(R2第1回)	観光応援事業として、北東北3県在住者対象の「プラチナプラン」や東北6県の在住者対象の「ゴールドプラン」によって、宿泊料金の一部助成と鹿角産品を使った食事等の提供に対する助成を実施し、市内宿泊施設の利用促進を図っている。		
2-1-2	子育て支援の充実	子育て・長寿課	病児・病後児保育事業	病児保育は事前の予約が必要と聞いたことがあるが、仕事を持つ親が子育てしやすいような柔軟な対応をしてほしい。(R1第2回)	原則、事前予約が必要であるが、空きがある場合は当日の利用申し込みを受け付けている。						
2-2-3	地域医療体制の充実	福祉総務課	医師確保対策事業(地域医療)	・産婦人科医、小児科医の確保も必要であるが、内科医なども足りないと感じる。(R1第2回) ・経済的な理由で、医師になることを諦めてしまうことのないよう、医師修学資金貸与について周知してほしい。(R1第3回)	地域医療推進員を配置し、医師充足率の向上を図るとともに、医学生への就学資金貸与、医療機関の開業支援や周知に取り組んでいる。			・分娩機能集約に伴う大館市への通院(家族の送迎)に対する職場の理解向上や負担軽減に向け、さらなる取組みを望む。(R2第1回) ・健診時の送迎バスを検討してほしい。(R2第1回)	・子育て世代包括支援窓口で妊婦面談を実施し、大館市立病院までの距離的な不安や経済的負担軽減を図っている。 ・救急搬送事前登録制度により、必要に応じた救急搬送体制を構築し、出産を控えた妊婦の不安解消を図っている。 ・ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む優良企業の表彰など、仕事と生活の調和がとれる職場づくりの推進に取り組んでいる。	・妊婦健診時の送迎バス運行は、移動中の妊婦の安全面配慮の観点から、実施は困難である。	

施策名		担当課	事業又は項目名	令和元年度				令和2年度				継続検討課題
				R1 委員の意見	既に取り組中であったもの	R2 実施計画に反映したもの	反映が困難なもの	R2 委員の意見	既に取り組中であったもの	R3 実施計画に反映したもの	反映が困難なもの	
3-1-1	公共交通の確保	市民共働課	地域公共交通維持確保対策事業	路線バスの運行経路が集落から離れており、利用者のニーズに合っていない。(R1第2回)	・公共交通空白地帯が存在する八幡平地区において、予約型乗合タクシーの実証運行を実施し問題解消に向けた検討を実施している。 ・地域のニーズに合った移動支援として、地域乗合交通を推進している。	利用者個々のニーズにすべてマッチさせるのは難しいが、幹線に出るまでの不便さは課題と捉えていることから、今年度実証実験を行った八幡平地区の公共交通空白地域をカバーするデマンドタクシーを本格運行を実施することとした。(→実施計画P45「地域公共交通維持確保対策事業」)						
3-4-1	防災体制の充実	総務課	地域防災力向上対策事業	災害時への備えとして、地域ぐるみで避難訓練を実施すれば良いのではないかと。(R1第3回)	・土のうなどの災害時に必要な資機材を整備を進めるとともに、自主防災組織が中心となり、避難訓練等を実施している。							
5-1-2	ライフデザインの支援	市民共働課	男女共同参画推進事業	子育て中の親が、子どもの急な病気など、必要な時に安心して休暇をとれるような職場環境を整えることが重要ではないかと。(R1第2回)	ワークライフバランス優良企業表彰や基礎講座を実施し、仕事と生活の調和がとれたライフスタイルの実現に向け意識啓発に取り組んでいる。							
5-1-4	鹿角ライフの促進	政策企画課	移住情報発信事業	関係人口を創出するには、鹿角市に興味を持ってもらい、訪れてもらうことが必要だが、良いところだけPRするのではなく、その他の事実も合わせて情報発信したほうが良い。(R1第3回)	首都圏の方と情報交換をする関係人口「鹿角家」会議を実施し、鹿角の魅力と合わせて生活環境の実態などの情報提供も行い、関わりしらの発掘やマッチングに取り組んでいる。							